

自然と文化のあふれる里山 一之瀬

南に養老山系最高峰の「笙ヶ岳」を仰ぎ、遠く鈴鹿山脈を望む自然豊かな里山。春には堤防の桜並木と山桜、夏には川遊びの家族連れの歓声、秋には長彦神社や多良峡の紅葉を楽しむ人の姿、冬には雪が木々に積もり水墨画の幽玄な世界。特に新緑の季節には、牧田川のせせらぎを聞きながらのウォーキングやサイクリングで、緑の風も心地よくさわやかな気分を味わうことができます。

一之瀬が歴史の公文書に初めて名を出したのは室町時代。当時、市之瀬と呼ばれたこの地には地頭が置かれ足利氏の支配地でした。かつて西伊勢街道の要所であった勝地峠には番所がありました。今そこには、松尾芭蕉の句碑が建てられています。勝地峠への入口には郷土桑原家住宅（国重要文化財）があり、当時の郷土の生活を偲ばせています。

天喜5年（1057年）に開山された天喜寺には木造雙柱定庵和尚座像（県の重要文化財）をはじめいくつもの文化財が保存され、殿垣外（このがいど）地区では曳山桃源閣（市の重要有形民族文化財）が大切に引き継がれてきました。

また、天然記念物のホンシャクナゲ群落・サンシュユの木・魚のネコギキやホタルの飛び交う自然と歴史・文化のあふれる魅力一杯の素敵な里山です。



壬申の乱の3年後、675年に創立された長彦神社

戦国の昔を偲ばせる桑原邸（国の重要文化財）



曳山桃源閣（市の重要有形民族文化財）



ホンシャクナゲ群落（天然記念物）



そうけいじょうがん 木造雙柱定庵和尚座像（県の重要文化財：天喜寺）



一之瀬地区までのアクセス

- 名神高速道路「関ヶ原I.C.」より国道365号線を四日市方面へ約10分
- 名神高速道路「養老SAスマートI.C.」より国道365号線を四日市方面へ約10分
- いなべI.C.より国道365号線を関ヶ原方面へ約30分

大垣市一之瀬地区のご紹介

いちのせ



岐阜県大垣市上石津町一之瀬

巫女神楽 (みこかぐら)

サンシュユの木
(天然記念物)

桑原邸長屋門造りの表門
(国重要文化財)

勝地峠

関ヶ原の戦い
島津隊の敗走路

上石津学園

本善寺

一之瀬保育園

上石津トンネル

曳山桃源閣
(大垣市重要有形
民俗文化財)

殿垣外ホタル水路

牧田川堤防桜並木

岩崎湧水

大垣市
上石津地域事務所
一之瀬支所

旧一之瀬小学校

一之瀬郵便局

ポケットパーク

巾坂
ホタルの里

天喜寺

圖空仏
(大垣市重要文化財)

長彦神社

牧田川

いちのせマップ

